



ヨコハマ会 市議員団  
子どもにツケをまわさない!  
“横浜から日本を創る”  
横浜市議 おばた正雄氏

〈ご相談・ご連絡先〉  
事務所：金沢区谷津町 332  
TEL：045 - 783 - 7869  
FAX：045 - 786 - 5315  
✉ m\_obata@palette.plala.or.jp  
(mの次はアンダーバーです)

9月市会 震災、放射線対策が柱 『減災行動』を

金沢区庁舎建替えへ 危機管理体制の強化!

Q・9月市会の取り組みは?  
A・横浜市の9月市会(第3回定例会)は9月2日から20日まで開かれ、震災対策を盛り込んだ総額約19億6200万円の一般会計補正予算案など31議案を審議して

います。このうち約86%の16億8100万円を震災対策に充てています。今議会は震災対策が中心です。特に、金沢区総合庁舎(消防署、公会堂を含む)は金沢区最大の危機管理の司令塔として重要な役割を担っています。先の大震災の時には庁舎全体が激しく揺れ、全職員が泥亀公園に緊急避難しました。そこで、防災対策上重要性が高く、耐震性に課題がある金沢区総合庁舎の整備を迅速に進めるため、区庁舎敷地等の土質調査や用地の測量経費を補正予算で1500万円計上しました。財政的に大変厳しい状況ですが、50年

以上先を見越した強固で環境に配慮した機能的な庁舎にしなければなりません。そのため、整備手法などは今後慎重に検討が必要です。金沢区に他に港南区と中区の庁耐震性強化・整備事業調査費も計上されています。

Q・その他の取組は?  
A・防災分野では耐震化に着手できていない市立保育園13園を全て改修するための設計費や市営住宅の早期耐震改修に向けた設計費を計上しています。

Q・津波対策等は?  
A・津波対策では、市民が安全な場所に避難する目安として金沢区や鶴見、神奈川、中区など沿岸6区の電柱や街路灯に、海抜を表示

するプレートを約1万3千カ所設置します。また発電機やテナ、トイレパックなどの災害備蓄品も充実させます。

Q・放射線対策は?  
A・放射線対策は、子育て中の保護者らの不安の声を受けて、小中高など全市立学校に放射線測定器を492台配置します。

Q・今後の課題は?  
A・横浜市は、市会等からの緊急対策の要請を受け、今回で第3次の総合的な震災対策の補正予算を組み対策を行い、この取組はかなり進んできましたが、広域避難場所、地域防災拠点の整備やアクセス、各種団体との情報交換、防災訓練、防災機材のメンテナンス等の見直しなどが急がれています。

『減災行動のススメ』改訂版  
〜できることから今すぐに〜

Q・今すぐやることは?  
A・特に緊急に必要な課題は、市民の方々が地震が起きた時にどのよう災害から身を守るかです。そこで、市の消防局は『減災行動のススメ』の小冊子(A

5版・27頁)の改訂版を出しました。区役所地区センターなどにありますので、参考にしてください。地震が来た時に落下物や倒壊物から身を守る対策を進めましょう。

Q・津波対策等は?  
A・津波対策では、市民が安全な場所に避難する目安として金沢区や鶴見、神奈川、中区など沿岸6区の電柱や街路灯に、海抜を表示するプレートを約1万3千カ所設置します。また発電機やテナ、トイレパックなどの災害備蓄品も充実させます。

Q・放射線対策は?  
A・放射線対策は、子育て中の保護者らの不安の声を受けて、小中高など全市立学校に放射線測定器を492台配置します。

Q・今後の課題は?  
A・横浜市は、市会等からの緊急対策の要請を受け、今回で第3次の総合的な震災対策の補正予算を組み対策を行い、この取組はかなり進んできましたが、広域避難場所、地域防災拠点の整備やアクセス、各種団体との情報交換、防災訓練、防災機材のメンテナンス等の見直しなどが急がれています。